

経営比較分析表（平成28年度決算）

岩手県 田野畑村

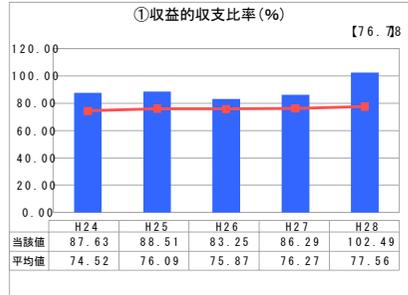
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	77.62	3,580	

人口(人)	面積(k ²)	人口密度(人/k ²)
3,590	156.19	22.98
現在給水人口(人)	給水区域面積(k ²)	給水人口密度(人/k ²)
2,768	17.30	160.00

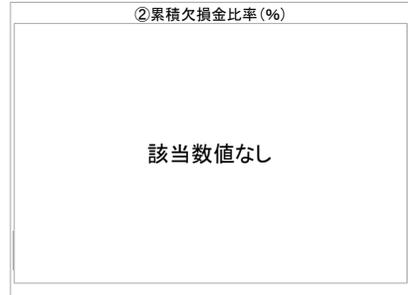
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



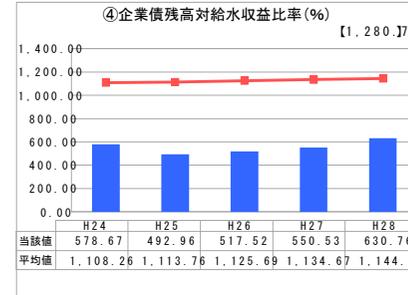
「単年度の収支」



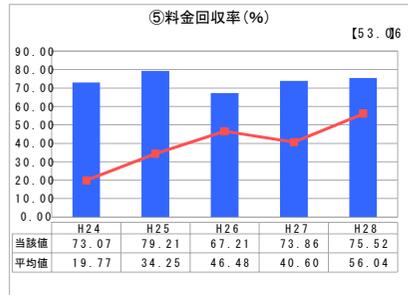
「累積欠損」



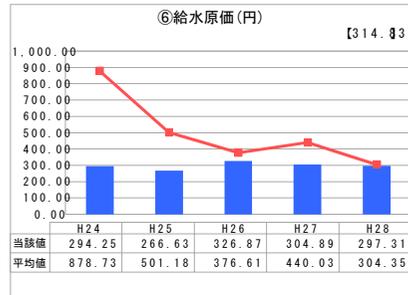
「支払能力」



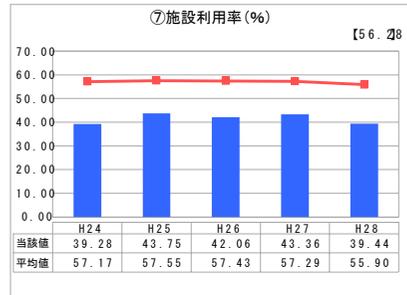
「債務残高」



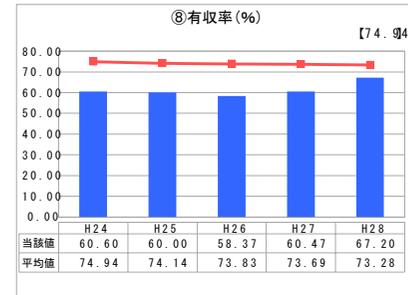
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

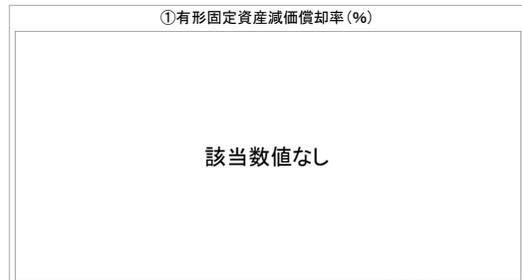


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

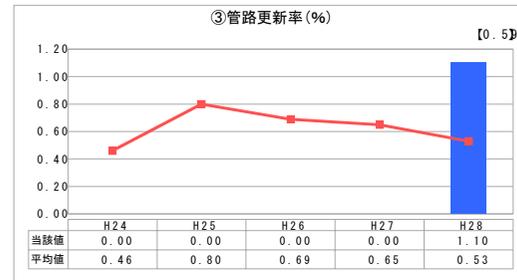
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当簡易水道は、収益的収支比率は類似団体の平均より高い状況で、企業債残高対給水収益比率は類似団体の平均より低く、料金回収率も類似団体の平均より高く、給水原価も類似団体の平均より低く、いずれも平均より良い状況であるが、収益的収支比率が10%に満たないことから、給水料金の見直し等も考慮の上、経営の改善を図ってきたい。

また、施設利用率は平均より低いが、小規模施設で、利用量の変動に対応しているもので、現状で問題がない。有収率は平均より低くなっていることから、漏水等の修繕を行っていくとともに、計画的に管路更新に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

管路は古いものが多く、更新時期を向えている状況であることから、今後は管路更新を計画的に進めていきたい。

全体総括

当簡易水道は、有収率が低いことから、漏水等の修繕、計画的な管路更新により、有収率の向上を図るとともに、給水料金等の見直し等も考慮の上、経営の安定化を図ってきたい。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。